

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ランケア顆粒水和剤
供給者の会社名称	株式会社エス・ディー・グリーンサービス
住所	東京都中野区丸山2丁目7-13
担当部門	営業部
電話番号	03-5356-2288
FAX 番号	03-5356-2289
緊急連絡先	03-5356-2288
推奨用途	農薬（除草剤）
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない

GHSラベル要素

表示対象外

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	フルセトスルフロン水和剤
成分及び濃度（含有率）	

成分	化学名/化学式	濃度	CAS番号	官報公示整理番号	
				(安衛法)	(化審法)
<成分①> フルセトスルフロン	1-[3-[(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイル)スルファモイル]-2-ピリジル]-2-フルオロプロピル=メトキシアセタート /C ₁₈ H ₂₂ FN ₅ O ₈ S	50.0 %	412928-75-7	—	—
<成分②> 鉱物質微粉、界面活性剤等	—	50.0 %	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合
被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、眼科医の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合	口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	霧状水、粉末消火剤、二酸化炭素等
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、フッ素化合物等が含まれる。
特有の消火方法	消火水が河川等に流入しないように十分注意すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用し、風上から消火活動を行うこと。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理作業には、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。
環境に対する注意事項	漏出物が河川、湖沼等に流入しないように十分注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を掃き集めて、密閉できる空容器に回収すること。
二次災害の防止	付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	局所排気装置や全体の換気設備を設けることが望ましい。
安全取扱い注意事項	容器の破損や容器からの漏洩に注意すること。 みだりに粉じんを発生させないこと。
接触回避	情報なし
衛生対策	吸い込んだり、眼や皮膚に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業すること。 取扱い後は、手、顔、眼等を良く洗い、うがいをすること。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、適当な換気のある乾燥した冷暗所に保管すること。
安全な容器包装材料	製品容器包装材料に準じること。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
許容濃度	日本産業衛生学会で未設定
設備対策	粉じんが作業場の空気を汚染しないように、設備の密閉化、局所排気装置の設置・使用、又は全体の換気を適切に行うこと。 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。
保護具	

呼吸用保護具	防じんマスク又は簡易防じんマスク
手の保護具	ゴム手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服（長袖、長ズボン）、保護長靴
特別な注意事項	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	細粒固体
色	類白色
臭い	なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
pH	7.42 (20.0g/80 ml 水溶液)
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	情報なし
粒子特性	情報なし
かさ密度	0.61 (見かけ比重)

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いでは反応性なし。
化学的安定性	通常保管条件、取扱いでは安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、フッ素化合物等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 LD ₅₀	>5,000 mg/kg (雌ラット) (区分に該当しない)
経皮 LD ₅₀	>5,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分に該当しない)
吸入 LC ₅₀	情報なし (分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	軽度の刺激性あり (GHS分類基準以下の刺激性) (ウサギ) (区分に該当しない)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	軽度の刺激性あり (GHS分類基準以下の刺激性) (ウサギ) (区分に該当しない)
呼吸器感作性	情報なし (分類できない)
皮膚感作性	陰性 (モルモット) (区分に該当しない)
生殖細胞変異原性	情報不足 (分類できない)
発がん性	情報不足 (分類できない)
生殖毒性	情報不足 (分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	情報不足 (分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	情報不足 (分類できない)
誤えん有害性	情報なし (分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類：	コイ	LC ₅₀ (96 hr)	>199 mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC ₅₀ (48 hr)	>199 mg/L
藻類：	緑藻	ErC ₅₀ (0-72 hr)	>49.7 mg/L
		NOECr	2.13 mg/L

上記の結果から、水生環境有害性 短期（急性）は藻類の上限値が不明であり「分類できない」、水生環境有害性 長期（慢性）は「区分に該当しない」とした。

残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし（分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、空袋、汚染容器等：	内容を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国連規制	国連の基準で評価して危険物に該当しない。
海洋汚染物質	該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	容器が破損しないように、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。
国内規制	規制されていない。

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号 第22387号
化学物質排出把握管理促進法	第一種・第二種指定化学物質に該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない
消防法	消防法危険物に該当しない

16. その他の情報

参考文献、資料等： Flucetosulfuronの安全データシート（LG Life Sciences社）

記載内容の取扱い：

- 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。